

# 上越の歴史的建造物と景観を守る会の活動と本事業の趣旨

当会は上越エリアにおける「歴史・文化の継承」を理念に掲げ、歴史的建造物及び景観の「保存・再生・活用」を推進するため、主体的に調査・研究と市民への発信や行政等への提言を行い、歴史的建造物と景観を活かしたまちづくりを行う事を目的に令和6年3月に設立した「まちづくり市民団体」です。令和6年能登半島地震での被災歴史的建造物を救う道を検討し、上越市に対して文化財ドクターの派遣要請などの要望を行い、そのいくつかは実現しています。幸い国登録有形文化財の修復は上越市及び新潟県の助成金があり、この白田邸もこの補助金を活用して修復工事が行われました。本事業は上越の歴史的建造物であり頸城の名建築である白田邸の建築的魅力と白田家及び白田家と関連のある頸城区の歴史を広く上越市民の方々に伝承していく事を目的とした歴史建築講座で本年度、春と秋の2回にわたり開催するものです。

## 講師プロフィール

いそだ かずひろ

建築設計・まちづくり / 一級建築士事務所

磯田 一裕

地域住環境建築研究所 代表



1960年上越市（直江津）生まれ。金沢工業大学建築学科卒業後13年間東京の建築設計事務所で修業。上越にUターン後、地元設計事務所で勤務。平成15年3月に「地域住環境建築研究所」を設立し現在に至る。専門分野は①住宅設計（新築・耐震診断・耐震改修・町家、古民家リノベーション）②歴史的建造物の調査・設計・修復及び事業計画の立案等③店舗設計（ブランディング・企画・設計）とまちづくり活動。歴史的建造物分野での実績としては八坂神社社殿改修の事務局長として奔走、光源寺本堂及び鐘楼屋根改修設計、頸城区では令和6年度に白田家住宅主屋修復の調査・設計・監理及び、瀧本邸離れ「懐徳亭」の調査・耐震診断・耐震改修計画を行っている。

## 白田善四郎と大倉喜八郎

### 白田善四郎

上越市頸城区（旧明治村）出身。現在のご当主、白田美和子様の祖父にあたる人物で、白田家は旧明治村時代は明治22年の初代助役に始まり明治25年より昭和22年まで3代にわたり明治村村長を歴任した家系です。現在の白田邸は氏の時代に明治天皇が北陸巡幸の折、御小休された旧能生町藤崎（現糸魚川市）の斎藤家を移築、大正8年から建築を始め大正9年に建前、造作工事では細部の納まりや材料、職人にこだわり16年かけて完成させた建物です。

### 大倉喜八郎

新発田市出身。18歳で上京し鯉節店の丁稚見習いから日々の努力と類まれな商才で一躍実業家としての頭角を現し、一代で日本有数の財閥である大倉財閥を築き上げ近代日本の発展に大きく貢献しました。歳春閣（ぞうしゅんかく）は1912年（明治45年）に東京の向島、隅田川沿いに建てられた大倉喜八郎の別邸です。

（以上、新発田市HPより抜粋掲載）



- ◆お申込みは右の二次元コード又はFAXにてお申し込みください。
- ◆お問い合わせはメールにてお願いいたします。

地域住環境建築研究所 磯田まで

TEL&FAX 025-543-6226

Mail [tiikiken@gmail.com](mailto:tiikiken@gmail.com)

参加申込み二次元コード



お申込書	お名前		ご住所	
	所属先		TEL	
	メール			
	ご意見・ご要望			

◆記載いただいた個人情報は当会主催の「歴史建築講座」運営に関する業務以外使用いたしません。